

2-1 カテゴリーの登録

概要

作成する棚割モデルの管理に必要なカテゴリー(売場)の登録をします。

棚割モデルを保存する際に、どのカテゴリー(売場)の棚割モデルなのかを設定して保存することができます。

また詳細設定で商品グループを登録でき、その商品グループから陳列したい商品を選択して棚割作成できます。

起動方法



操作方法

The screenshot shows the 'Category (Maintenance)' dialog box. The 'Department' (部門) dropdown is set to '10 加工食品'. The table below shows the following data:

コード	名称
1010	飲料

At the bottom of the dialog, there are buttons for 'Register (A)' (登録(A)), 'Delete (D)' (削除(D)), 'Output (O)' (出力(O)), and 'End (E)' (終了(E)).

1. [マスターメンテナンス] - [カテゴリー] をクリックします。
2. [部門] をクリックして、該当部門を選択します。
3. テキストボックスにカテゴリーコードとカテゴリー名称を入力します。
4. [登録] をクリックします。

特記事項

- 部門が未選択でもカテゴリーの登録は可能です。
- カテゴリーコードは前0ありとなしでは別コード扱いになります(例:「01」「1」など)
- 詳細設定の登録は必須ではありません。
- 詳細設定で抽出条件を設定したカテゴリーを棚割モデルに設定した場合、棚割編集時に商品リストから商品分類を指定して陳列したい商品を絞り込み表示させることが可能です。
- [出力] ボタンより、登録されているカテゴリーの一覧を Excel や PDF に出力することができます。

2-2 パターンコードの登録

概要

新規パターンを作成する場合に使用するパターンコードとパターン名の登録を行います。
「飲料2本パターン」や「飲料3本パターン」などの棚割パターンの種類を登録して、棚割モデルの保存時にどのパターンに該当するのかを設定して棚割管理します。

起動方法



操作方法

パターン(メンテナンス)

部門: 10 加工食品 *

カテゴリー: 1010 飲料 *

コード	名称	表示
101002	飲料2本	
101003	飲料3本	
101004	飲料4本	
101005	飲料5本	

登録(A) 削除(D) 出力(O) 終了(E)

1. [マスターメンテナンス] - [パターン] をクリックします。
2. 「部門」と「カテゴリー」を選択します。
3. テキストボックスにパターンコードとパターン名称を入力して「登録」をクリックします。

特記事項

- カテゴリーの選択は必須です。
- パターンコードは前0ありとなしでは別コード扱いになります(例:「01」「1」など)
- [出力] ボタンより登録されているパターンの一覧を Excel や PDF に出力することができます。
- パターンを削除する場合は、不要なパターンを選択してから「削除」をクリックします。
- 削除するパターンに実施モデルが存在し、棚割モデル割付がある場合はパターンを削除できません。
(「棚割モデル割付」とは実施モデルを店舗に割り付ける設定を指します)
- 棚割モデル割付がなく、過去の棚割変更日で登録されている実施モデルが存在するパターンを削除すると非表示になります。
(非表示になっているパターンは表示欄に「×」が表示され、棚割モデル割付の設定画面で非表示になります)
- 環境設定で「パターンコードの重複を禁止する」を設定されている場合、パターンを登録時に他のカテゴリーに同一のコードがないかをチェックして、パターンコードの重複が生じた場合には「既に登録しています」が表示されて登録できません。